

評価種別 継続箇所評価  
 適用基準名 漁港漁場整備事業（漁港整備）

事業コード (H22-農-継-16 )  
 箇所名 (男鹿市船川港橋 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要		
必要性	事業の必要性 県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い	5	1			
		一般県民を対象とした調査でニーズを把握	3				
		一般県民を対象とした調査を行っていない	1				
	社会経済状況変化による需要変化	増大している	5	3			
		特に変化はない	3				
		低下している	1				
	事業箇所の現状						
	漁業活動の現状	操業におおいに支障を来している	5	5			
		操業にある程度支障を来している	3				
		操業に支障を来していない	0				
今後の具体的効率性見込み							
出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される	5	5				
	出漁日数は増加しないと推計される	0					
作業時間の短縮	漁業作業時間が短縮する	5	5				
	漁業作業時間は短縮しない	0					
計			25	19			
緊急性	漁業活動における支障 現況の港内静穏度	所要安全波高の2倍以上で事故の危険がある	5	3			
		所要安全波高より高く出漁・係船に支障がある	3				
		所要安全波高を満たしている	0				
	現況の漁港施設状況	老朽化又は機能不全のため施設利用ができない	5	3			
		老朽化又は機能不全のため利用上支障がある 特に施設利用上の支障はない	3				
	事業未実施の影響	事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい	5	5			
他事業との関連	事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	1	0				
	関連する他事業との調整で緊急性が高い	5					
計			20	11			
有効性	今後の具体的有効性見込み 水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される	5	5			
		陸揚げ量は増加しないと推計される	0				
	漁業の生産性	生産コストが縮減する	3	3			
		生産コストは縮減しない	0				
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる	5	5			
		漁業活動の安全性は高まらない	0				
漁業就業環境	就業環境が良化する	2	2				
	就業環境は良化しない	0					
上位計画への貢献度 ふるさと秋田元気創造プラン							
		戦略を支える取組として貢献度が高い	5	3			
		戦略を支える取組に間接的に貢献する	3				
		戦略を支える取組には貢献度の低い事業である	1				
計			20	18			
効率性	事業の投資効果 費用対効果	B / C = 1.2 以上	5	3			
		B / C = 1.0 以上 1.2 未満	3				
		B / C = 1.0 未満	0				
	事業実施コストの縮減 コスト縮減計画の実施状況	実施している	5	5			
		実施を予定している 実施を予定していない	3				
当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内	5	5				
	10%以内の増加	3					
	10%以上の増加	1					
計			15	13			
熟度	事業の推進 事業の推進体制	協議会等の推進体制が設立済み	5	5			
		推進体制の設立準備中	3				
		推進体制設立の予定なし	0				
	将来の維持管理 維持管理体制	管理者・受託者が確定済み	5	5			
		協議中であるが合意見込み	3				
		未定である	0				
	環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5			
		配慮について検討している	3				
特に配慮はない		0					
事業の進捗状況 今後の進捗見込み		課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5			
		将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない	3				
		課題解決の見込みが無く事業が停滞する	0				
		計	20		20		
合計			100	81			

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上		
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		

評価種別 継続箇所評価  
適用基準名 漁港漁場整備事業（漁港整備）

事業コード(H19-農-再-9 )  
箇所名 (男鹿市船川港橋 )

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	事業の必要性				
	県民のニーズ	一般県民を対象とした調査でニーズが高い 一般県民を対象とした調査でニーズを把握 一般県民を対象とした調査を行っていない	5 3 1	3	
	社会経済状況変化による需要変化	増大している 特に変化はない 低下している	5 3 1	3	
	事業箇所の現状				
	漁業活動の現状	操業におおいに支障を来している 操業にある程度支障を来している 操業に支障を来していない	5 3 0	3	
	今後の具体的効率性見込み				
	出漁日数の増加	出漁日数の増加が推計される 出漁日数は増加しないと推計される	5 0	5	
	作業時間の短縮	漁業作業時間が短縮する 漁業作業時間は短縮しない	5 0	5	
	計		25	19	
	緊急性	漁業活動における支障			
現況の港内静穏度		所要安全波高の2倍以上で事故の危険がある 所要安全波高より高く出漁・係船に支障がある 所要安全波高を満たしている	5 3 0	3	
現況の漁港施設状況		老朽化又は機能不全のため施設利用ができない 老朽化又は機能不全のため利用上支障がある 特に施設利用上の支障はない	5 3 0	3	
事業未実施の影響		事業効果や効率性、周辺への影響等が大きい 事業効果や効率性、周辺への影響等は小さい	5 1	5	
他事業との関連		関連する他事業との調整で緊急性が高い 関連する他事業との調整で緊急性は低い	5 0	0	
計			20	11	
有効性	今後の具体的有効性見込み				
	水産物属地陸揚げ量の増加	陸揚げ量の増加が推計される 陸揚げ量は増加しないと推計される	5 0	5	
	漁業の生産性	生産コストが縮減する 生産コストは縮減しない	3 0	3	
	漁業活動の安全性	漁業活動の安全性が高まる 漁業活動の安全性は高まらない	5 0	5	
	漁業就業環境	就業環境が良化する 就業環境は良化しない	2 0	2	
	上位計画への貢献度 あきた 2 1 総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い 施策目標に間接的に貢献する 施策目標とは別のその他関連事業である	5 3 1	3	
計		20	18		
効率性	事業の投資効果				
	費用対効果	B / C = 1 . 2 以上 B / C = 1 . 0 以上 ~ 1 . 2 未満 B / C = 1 . 0 未満	5 3 0	3	
	事業実施コストの縮減 コスト縮減計画の実施状況	実施している 実施を予定している 実施を予定していない	5 3 0	5	
	当初計画との比較 当初計画事業費からの増減	当初計画事業費以内 1 0 % 以内の増加 1 0 % 以上の増加	5 3 1	5	
	計		15	13	
熟度	事業の推進				
	事業の推進体制	協議会等の推進体制が設立済み 推進体制の設立準備中 推進体制設立の予定なし	5 3 0	5	
	将来の維持管理 維持管理体制	管理者・受託者が確定済み 協議中であるが合意見込み 未定である	5 3 0	5	
	環境との調和への配慮状況 環境保全への配慮	十分に配慮されている 配慮について検討している 特に配慮はない	5 3 0	5	
	事業の進捗状況 今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる 将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない 課題解決の見込みが無く事業が停滞する	5 3 0	5	
	計		20	20	
合計			100	81	

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
	優先度がかなり高い	8 0 点以上		
	優先度が高い	6 0 点以上 ~ 8 0 点未満		
	優先度が低い	6 0 点未満		